



がんばっています

市立真野小学校

真野小学校は「ゆたかにかしくたくましく伸びる 真野のよい子」を教育目標に掲げ、「この学校、この学級、この先生でよかった」と思ってもらえる学校にするために、子どもと先生・子ども同士のかかわり感やつながり感を大切に授業や教育活動に取り組んでいます。

当校では、7年ほど前から思考力や表現力に焦点を当てた算数指導を共通テーマに職員の研修を進めています。



この研修の柱は、すべての先生が行う研究授業(授業を公開してお互いに見合い、効果のある指導方法を検討する)です。一人一人の先生が、子どもに思考力や表現力を育むための工夫を凝らした「指導案」という授業プランを事前に立て、他の先生と議論する中でより良いプランにしていきます。

授業は「公開授業」として他の先生(他校の先生にも声をかけて参加していただきます)にも見

てもらいます。そして、参観した授業をもとに、子どもの学びの姿から本当に効果があったのか、より良い授業にするためにはどう改善したらよいかなどを率直に話し合います。

さらに、この授業公開の際には、外部から指導者を招き、授業についてのアドバイスをいただくことも続けています。昨年度は教育委員会の指導主事や新潟県外の大学から算数教育についての専門家や指導者として招き、効果のある指導方法について学びを深めてきました。



このように、真野小学校には子どものために授業をより良くしたいと願い、日々工夫を重ねる先生がたくさんいます。機会があればぜひ、真野小学校の授業を見に来てくださいます。

◆市教育委員会学校教育課
(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4898

生活情報 さど

「宝くじに高額当選しました!」とメールが届いた

『当選商法』にご注意ください』

スマートフォンなどに「〇千万円当選しました」などのメールが届いたが、信じてよいかという相談が消費生活センターに寄せられています。

【相談事例】

「重要連絡」と題して、「宝くじに〇千万当選しました。おめでとうございます」と何度もメールが届いた。返信メールを送ったら、「当選金を振り込むので、銀行の口座番号を教えてください」とメールが来たので、銀行口座を教えた。

その後「手続きに3千円が必要になります」と言われたので、コンビニに行き、電子ギフトカードを購入し、ギフトカードの番号がわかるように写真を撮って送信した。

【アドバイス】

「当選しました」など、宝くじ等に当選したかのようなメールが届き、賞金を受け取るための口座番号を教え、申込金や手数料という名目でお金を支払わせる手口が増加しています。

そもそも応募していないのに「当選した!」という話はありません。

うまい話が、見ず知らずの業者からそう簡単に舞い込むはずはありません。さらなる被害にあう恐れがあるので、口座番号やクレジットカード番号は絶対に教えてはいけません。

架空請求と同じく、『返信しない』『無視する』対応が被害防止につながります。

少しでも疑問や不安を感じたら、お金を支払う前に家族や消費生活センターに相談しましょう。

市消費生活センターのホームページに、市内でのトラブル事例を紹介しています。被害に遭わないためには、身近なトラブル事例を確認し把握することが重要です!!
(https://www.city.sado.niigata.jp/consumer_c/index.html)

お問い合わせ

市消費生活センター
(佐和田行政サービスセンター内)
(平日)午前9時～午後4時
☎57-8143

消費者ホットライン

☎188 (嫌や!泣き寝入り)